

長崎見学スポットガイド
散策&観賞

長崎 市内

編

長崎の歴史と
平和への歩みを訪ねて

詳細なガイド・豊富な欄
外解説により、歴史的
人物・出来事、関連物件
なども紹介

最新版

掲載物件50件余
自主研修・事前学習に最適
エリアマップ付



長崎概略	1
長崎県内全図 (長崎にあるふたつの世界遺産)	2
長崎市内中心部図	4
市内路面電車	6
お得なチケット	7
文化施設一覧	41~43
略年表	44~47
年中行事	48
長崎観光・交通問い合わせ先	49
奥付	49

◇◇◇◇◇◇◇◇ 物件ガイド ◇◇◇◇◇◇◇◇

中央地区【地図 8~9】 10~19

出島(出島和蘭商館跡)	10
唐人屋敷跡	11
思案橋・丸山町	11
長崎市 中の茶屋	12
高島秋帆旧宅	12
梅園身代り天満宮	12
長崎県美術館	13
長崎新地中華街	13
日本二十六聖人殉教地	14
日本二十六聖人記念館	14
サント・ドミンゴ教会跡資料館	14
長崎歴史文化博物館	15
福濟寺(長崎観音)	15
聖福寺	15
諏訪神社	16
松森天満宮	16
シーボルト記念館・シーボルト宅跡	17
長崎県防空本部跡(立山防空壕)	17
崇福寺	18
興福寺	18
眼鏡橋(中島川石橋群)	19
風頭公園	19
長崎市亀山社中記念館	19

中国文化の影響	13
長崎くんち	16
シーボルト	17

東山手・南山手地区【地図20】 20~28

オランダ坂	20
長崎市東山手地区町並み保存センター	21
長崎市東山手十二番館	21
長崎市古写真資料館・埋蔵資料館	22
長崎孔子廟・中国歴代博物館	22
長崎市南山手地区町並み保存センター	22
長崎市須加五々道美術館	23
長崎市べっ甲工芸館	23
長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館	23
軍艦島デジタルミュージアム	23
大浦天主堂	24
グラバー園	25~27
祈りの丘絵本美術館	28
大浦国際墓地	28
鍋冠山公園展望台	28

信徒発見と浦上四番崩れ 24

浦上地区【地図 30】 29~34

平和公園	29
長崎原爆資料館	31
国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	31
如己堂・永井隆記念館	32
山里小学校(防空壕跡)	32
長崎原爆遺跡 旧城山国民学校校舎	32
浦上天主堂	33
長崎原爆遺跡 旧長崎医科大学門柱	34
山王神社	34
坂本国際墓地	34

平和への祈り 35~38

長崎港西側【市内中心図参照】 39~40

稲佐山・長崎ロープウェイ	39
稲佐悟真寺国際墓地	39

日本の近代化と三菱長崎造船所 40

長崎概略



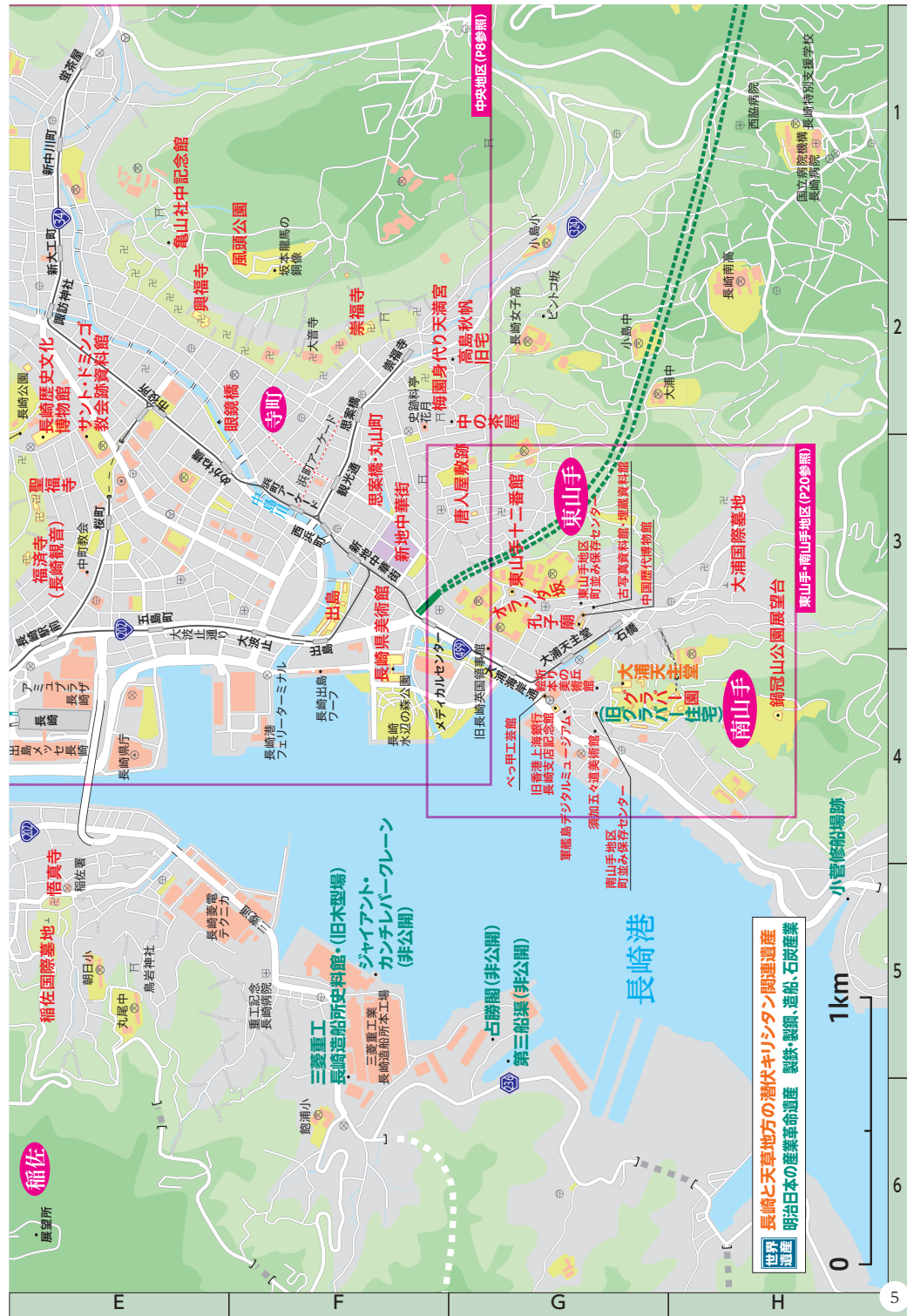
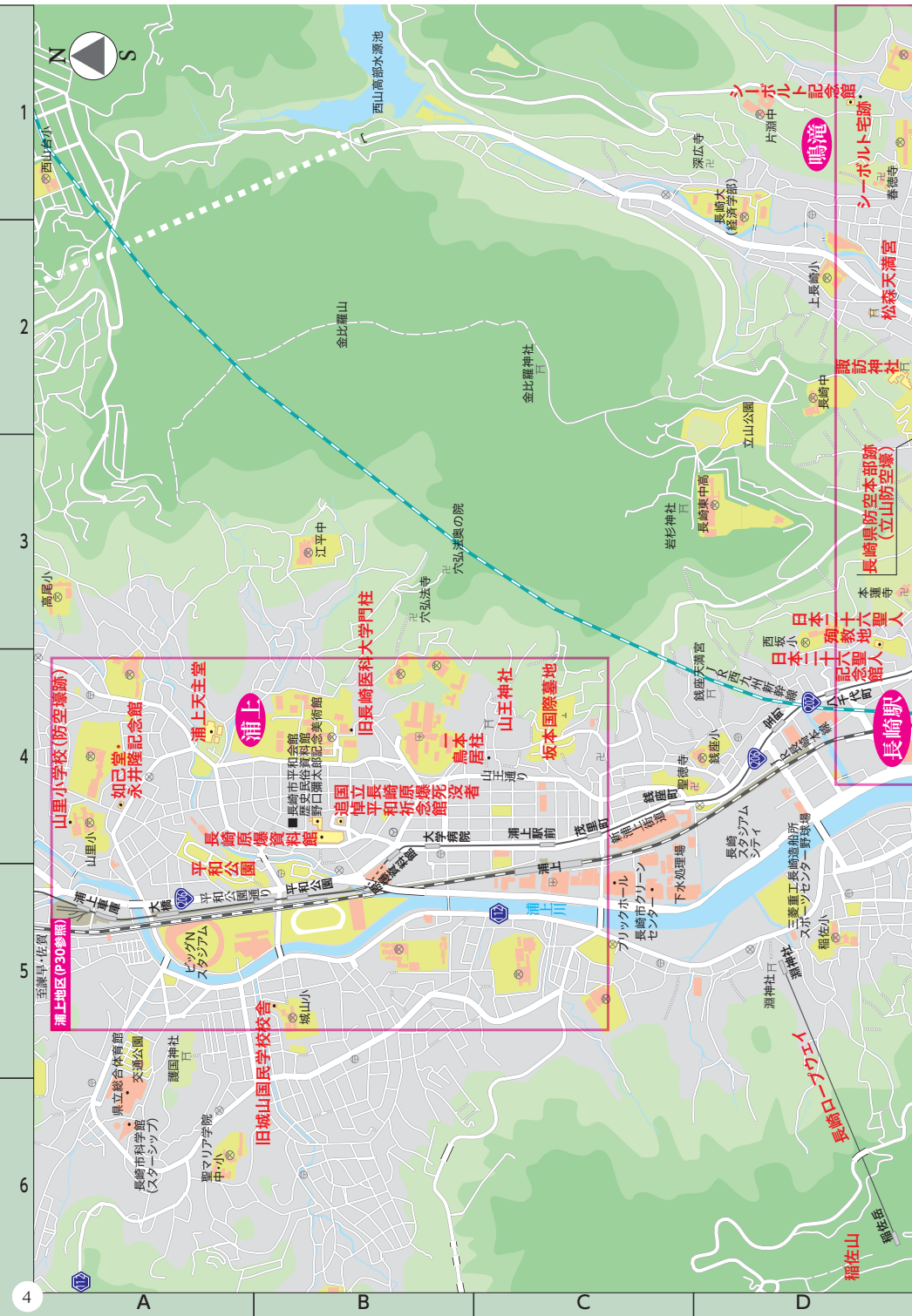
16世紀半ば、長崎はどこにでもあるひなびた漁村に過ぎませんでした。その長崎が大きく変化していったのは、キリスト教の影響が小さくありません。大村湾周辺を治めた大村純忠は、キリシタン大名として知られ、長崎の開港にも尽力したとされます。天然の良港であった長崎はポルトガル貿易の拠点とされ、周囲はイエズス会の教会領となると共にキリスト教は急速に広まっていったとされます。

限られた接点ではありましたが、海外貿易は盛んになり、江戸幕府も初期の段階では大いに奨励したとされます。ところがキリスト教への警戒とともに、貿易はしだいに制限されてゆき、寛永12年(1635)には貿易港は長崎だけとなり、貿易相手もキリスト教色の強かったポルトガルとの貿易は禁止され、オランダと中国だけを特例とした完全な鎖国体制が完成しました。こうして長崎は、江戸幕府の鎖国政策の中、世界に開かれた数少ない窓として、経済的・文化的に独自の繁栄と特殊な位置を占める事となりました。ポルトガルから伝えられたとされるカステラや唐人料理・西洋料理と日本料理の融合である卓袱料理などは、この頃の交流の成果ともいえるでしょう。

200年を超える長かった鎖国時代も、安政5年(1858)5ヶ国(アメリカ・オランダ・ロシア・イギリス・フランス)と結ばれた修好通商条約により終わり、長崎は自由貿易港という新たな役割を担ってゆきます。鎖国時代の特権的地位は失われましたが、狭い出島から開放された外国人たちによる様々な街づくりが行われ、異国情緒漂う国際都市としての成長を遂げました。

こうして発展を遂げた長崎は、やがて昭和20年(1945)8月9日に原爆投下により壊滅しました。14万を超える人命が失われ、浦上周辺は灰燼となり、放射性物質は人々の身体を苦しめ続けました。焼け野原となった街も現在は復興し、原爆投下地点は平和公園となり戦争に対する反省と平和への祈りを発しています。

長崎市内中心部図



東山手・南山手地区～異国情緒を求めて

長い鎖国政策が終わると、東山手や南山手は外国人居留地となりました。辺りには領事館や教会、洋館などが立ち並び、独特の雰囲気を作ったといいます。現在も、当時を偲ばす町並みが残っています。

オランダ坂

地図 P20C3 P41 参照

安政5年(1858)日米修好通商条約等により長崎港が開港され、東山手地域も外国

人居留地となった。彼ら外国人は一律で「オランダさん」と呼ばれ、辺りの坂も「オランダさん」の通る「オランダ坂」と命名された。女学校・活水学院から電停石橋駅に出る長い坂がとくに有名。雨に濡れば涼しげに、

世界遺産 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産
明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業



写真提供「長崎市」

町並み保存センターである。1階は居留地時代と現在の様子が比較できる写真パネルが展示され、2階は研修室やギャラリーとして開放されている。

長崎市東山手十二番館 (旧居留地私学歴史資料館)

地図 P20C3 P43 参照

明治元年(1868)以来、ロシア領事館・アメリカ領事館・宣教師の住宅などに使われた洋館。幅広い廊下、大きな間取り、広々としたベランダなどが特徴的で、国重文に指定されている。

キリスト教団体が異教徒の多い国に布教のために設立した学校を「ミッションスクール」といい、開国と共に長崎では続々と創建された。ここでは、そうしたミッションスクールの歴史を外国人居留地時代の資料とともに紹介している。



陽ざしの中では暖かく、雨や枯葉の似合う石畳。蔭のからまる石垣・洋館群の間に延びるエキゾチックなオランダ坂は、長崎の象徴でもある。一番古いオランダ坂は、思案橋から丸山の裏へ出る坂で、オランダさんが、こっそり丸山郭に通ったのだとか。他にも、ヘイフリ坂、ピントコ坂などがある。

長崎市東山手地区町並み保存センター

地図 P20C4 P43 参照

この周辺に立ち並ぶ7棟の洋館は東山手洋風住宅群と呼ばれ、南山手地区と同様に重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。その中の1棟が、居留地時代の貴重な遺産を保存することを目的に設置された

©NAGASAKI CITY

©NAGASAKI CITY

の前日であり、すでにドイツは5月7日に降伏し、時の流れは日本を投下目標としていた。1944年9月に時点でルーズベルト大統領とチャーチル英首相の間で、「原爆を日本に対して使用すること」に意見の一致があったとされる。このマンハッタン計画は科学者の中でも賛否両論であったが、戦争を急速に終結させ、アメリカ兵士の多数の生命を救うためという功利論が勝利した。

3. 投下目標都市の決定

投下目標都市の選定は、戦争意欲を挫折させる都市、すなわち重要司令部・軍部駐屯地・軍需物資補給生産地で、原爆効果をつかむ適当な広さと人口を有し、爆撃で破壊されていないことであった。まず、小倉・広島・新潟・京都の4都市を候補地とするが、京都は歴史的由緒があり宗教的重要性を持つということで除外され、長崎の名が浮上した。長崎は、軍艦・兵器を生産する三菱の諸工場がある軍需生産都市・港湾都市であった。その後、新潟は除外された。



小川虎彦氏撮影「焼け尽くされた岩川町一帯」

4. テニアン基地

マリアナ諸島の一つテニアンが原爆基地となり、北飛行場ノースフィールドの一角で2つの原爆が組み立てられた。

7月26日、2つの原爆が空と海から到着した。第1号ウラニウム爆弾は、直径71cm、長さ3.05m、重さ4t。第2号より小さく砲身型なのでリトル・ボーイ（ちびっこ）と呼ばれ、1945年8月6日に広島に投下された。

第2号のプルトニウム爆弾は6日に組み立てを完了した。直径1.52m、長さ3.25m、重さ4.5t。内部の構造の相違から、ウラニウム爆弾より大きく涙のしずくのような形からファットマン（でぶっちょ）と呼ばれた。この時、ウラニウム爆弾による広島全滅の報告がテニアン基地に届いた。

8月8日、第2号投下命令が下され、攻撃日は8月9日、第1目標は小倉、第2目標は長崎であった。

5. 8月9日11時2分、原爆投下！

テニアン基地を出発した3機のB29は途



小川虎彦氏撮影「浦上天主堂」

中1機が遅れ、原爆搭載機ボックスカー号と計測器搭載機グレート・アーチスト号が一路小倉を目指した。小倉上空は、前日の八幡爆撃による煙や霧のため目視撃ができず、また搭載機自体の補助燃料移送ポンプの故障により、一部の燃料が使えなかったこともあり、スウィーニー機長は投下をあきらめ長崎に向かった。長崎上空にも雲が出ていたが、突然雲の切れ間から三菱兵器製作所を認め、ビーハン爆撃手が投下のスイッチを押した。爆弾は大地目がけて急速に落下し、地上ではアラモゴードの砂漠での実験以上の事が起こり、長崎は歴史的な瞬間を迎えた。

6. 原爆の構造

長崎に投下された原爆は、プルトニウム239約6kgが材料に使われ、その内の約1kgが核分裂を起こしTNT火薬で22kt（資料館展示）相当の爆発を引き起こした。ウラン235やプルトニウム239に中性子が衝突し、その原子核が分裂し、2つのかけらと2～3個の中性子になる。この中性子が原子核に

衝突し、次々に原子核が分裂し莫大なエネルギーを生じるのである。

7. 被爆状況

高度9,000mの上空から投下された爆弾は、三菱兵器工場・三菱製鋼所・三菱造船所幸町工場など、無数の工場や民家の密集する浦上の松山町上空約500mで炸裂した。その直後、轟音と共に赤い炎が点滅し、恐ろしい速度で上昇し広がる「悪魔の火球」の下で想像を絶する地獄が出現していた。火球の中心温度は最高摂氏100万度に達し、半径500m付近は一瞬にして黒い灰と化した。1.5kmでさえも、露出していた皮膚は火傷を負う高熱であった。市街の至る所から火災が発生し、火は火を呼び燃え広がった。

また、爆発により中心に超高压が生まれ、四方に衝撃波を走らせ、約500m地点の鉄骨建物のほとんどが倒壊した。家屋の下敷になる人、炎に吞まれる人、人々の絶叫が轟音とこだまして消えていった。1950年長崎市原爆資料保存委員会調査によれば、

日本の近代化と三菱長崎造船所

地図 P5F5 ～ G5

ペリー来航による開国を迎えた日本は、約50年間で飛躍的な発展を遂げた。

長崎には幕府が安政2年(1855)開設した長崎海軍伝習所があったが、軍艦の修理施設

も必要とされ、安政4年に長崎溶鉄所が開設。大規模な官営工場は、のちに三菱に払い下げられ、現在も「三菱重工業株式会社長崎造船所」として活躍を続けている。所内には世界遺産構成資産4件(参照P3)があるが、それぞれ現在休館中または非公開となっている。



旧木型場(長崎造船所史料館) **世界遺産**

三菱長崎造船所内に現存する建物で、鋳物製造にもちいる木型を制作していた。1898年(明治31年)に竣工したレンガ造り。現在は、長崎造船所史料館として資料を公開しているが、2020年4月より工事により現在も休館中である。

ジャイアント・カンチレバークレーン【非公開】 世界遺産

高さ61.7m、腕の長さが73mもある同型として日本初の電動クレーン。吊り上げ能力は150トンを誇り、船舶に主機械などを搭載するため利用される。英国アップルビー社製で、明治42年(1909)に輸入された。



第三船渠【非公開】 **世界遺産**

船渠とは船舶を建造・修繕するための施設で、ドックともいう。明治38年(1905)に竣工した第三船渠のみが現在も稼働している。全長222.2m、幅27m、深さ12.3m。

占勝閣【非公開】 **世界遺産**

明治37年(1904)に建てられた長崎造船所の迎賓館。長崎の町と港の眺めは素晴らしく、東伏見宮依仁親王殿下により「風光景勝を占める」と命名されたと言われている。2代目所長 田平五郎の邸宅として建てられるが、所長宅として使用される事はなかった。



文化施設一覧

物件	電話(095-)・住所・交通	時間・休み(年末年始除く)・所要分	地図頁 解説頁
稲佐山(展望台)	☎822-8888(長崎市あじさいコール) 【住所】長崎市稲佐町 【交通】長崎ロープウェイ参照	【時間】展望塔:9時～22時 所要90分	4D6 39
稲佐 悟真寺国際墓地	☎861-2654(悟真寺) 【住所】長崎市曙町6-14 【交通】長崎バス「悟真寺前」下車、徒歩すぐ	【時間】10時半～15時(見学希望は要問合せ) 所要20分	5E5 39
祈りの丘絵本美術館	☎828-0716 【住所】長崎市南山手町2-10 【交通】路面電車「大浦天主堂」下車、徒歩3分	【時間】10時～17時半 【休み】月曜休(祝日の場合は翌日)・展示入替日 【料金】一般300・高校生以下200円 所要20分	20B4 28
梅園身代り 天満宮	【住所】長崎市丸山町 【交通】路面電車「思案橋」下車、徒歩6分	境内自由 所要10分	8D5 12
浦上天主堂	☎893-8763(長崎巡礼センター) 【住所】長崎市本尾町1-79 【交通】路面電車「平和公園」下車、徒歩8分	【時間】9時～17時 【休み】無休 【料金】無料(献金箱に志納) 所要30分	30D2 33
大浦国際墓地	☎829-1127(長崎市財産活用課) 【住所】長崎市川上町 【交通】路面電車「石橋」下車、徒歩7分。	【時間】8時～18時 【休み】無休 所要30分	20C5 28
大浦天主堂	☎823-2628 【住所】長崎市南山手町5-3 【交通】路面電車「大浦天主堂」下車、徒歩5分	【時間】8時～18時(11/1～2/末、～17時半) 【休み】教会行事により休館 【料金】一般1000・高中400・小学生300円(大浦天主堂キリシタン博物館入場料含む) 所要60分	20B4 24
オランダ坂	☎822-8888(長崎市あじさいコール) 【住所】長崎市東山手町 【交通】路面電車「メディカルセンター」下車、徒歩4分	見学自由 所要30分	20C3 20
風頭公園	☎829-1184(長崎市地域整備2課) 【住所】長崎市風頭町・伊良林3丁目 【交通】長崎バス「風頭山」下車、徒歩5分	見学自由 所要45分	9F3 19
グラバー園	☎822-8223 【住所】長崎市南山手町8-1 【交通】路面電車「大浦天主堂」下車、徒歩7分	【時間】8時～18時(夜間開館日もある) 【休み】無休(年末年始も含む) 【料金】一般620・高310・小中学生180円 所要60分	20B4 25
軍艦島デジタル ミュージアム	☎895-5000 【住所】長崎市松が枝町5-6 カステラの長崎堂ビル内 【交通】路面電車「大浦天主堂」下車、徒歩1分	【時間】9時～17時 【休み】無休(年末年始も含む) 【料金】一般1800・高中1300・小学生800円・幼児500円 所要90分	20B4 23
興福寺	☎822-1076 【住所】長崎市寺町4-32 【交通】路面電車「市役所」下車、徒歩8分	【時間】7時～17時 【休み】無休 【料金】一般300・高中200・小学生100円 所要60分	9E3 18
国立長崎原爆死没者 追悼平和祈念館	☎814-0055 【住所】長崎市平野町7-8 【交通】路面電車「原爆資料館」下車、徒歩4分	【時間】8時半～17時半(時季により異なる) 【休み】無休 【料金】無料 所要60分	30C3 31
坂本国際墓地	☎822-8888(長崎市あじさいコール) 【住所】長崎市坂本1-2 【交通】路面電車「茂里町」下車、徒歩8分	見学自由 所要20分	30D5 34
山王神社	☎844-1415 【住所】長崎市坂本2-6-56 【交通】路面電車「大学病院」下車、徒歩6分	境内自由 所要30分	30D4 34
サント・ドミンゴ 教会跡資料館	☎829-4340 【住所】長崎市勝山町30-1(桜町小学校1階校門とは別に入口を設置) 【交通】路面電車「桜町」下車、徒歩4分	【時間】9時～17時 【休み】月曜休 【料金】無料 所要30分	8D2 14
思案橋・丸山	【住所】長崎市油屋町・本石灰町 【交通】路面電車「思案橋」下車、徒歩すぐ	見学自由 所要30分	8D5 11

※記載内容は2024年9月時点の情報です。時間は季節・天候によって若干変わる場合があります。

月日	行事名	場所	地図索引
1月下旬～2月上旬 (旧暦1月1日(春節)～ 1月15日(元宵節))	長崎ランタンフェスティバル	新地中華街会場、他	P8C5
2月第1日曜	日本二十六聖人殉教記念ミサ	西坂公園(雨天時は中町公園)	P8B1
4月上旬の日曜	長崎ハタ揚げ大会	唐八景公園	地図外
4月中旬(旧暦3月23日)	崇福寺媽祖祭、天上聖母聖誕	崇福寺	P9E4
4月下旬	長崎帆船まつり	長崎港 (長崎水辺の森公園・長崎出島ワフ周辺)	P8A5
4月下旬～5月上旬	稲佐山つつじまつり	稲佐山公園	P4D6
7月下旬	祇園祭	八坂神社	P9E5
7月下旬	ながさきみなとまつり	長崎港(長崎水辺の森公園・長崎港)	P8A5
7月下旬	長崎ペーロン選手権大会	長崎港(長崎水辺の森公園・長崎港)	P8A5
8月8日	長崎原爆殉難者慰霊祭	長崎市原爆落下中心地公園	P30B2
8月9日	たいまつ行列	浦上天主堂	P30D2
8月9日	万灯流し	市営陸上競技場	P30B3
8月15日	精霊流し	長崎市街一帯 (主に思案橋～県庁坂～大波止)	P8D3他
8月上旬・下旬の週末	長崎夜市	中島川周辺	P8D3他
9月	長崎郷土芸能大会	長崎市民会館	P8D3
9月中旬	長崎居留地まつり	グラバー園周辺	P20B4
9月	孔子祭	孔子廟	P20C4
10月7日～9日	長崎くんち	諏訪神社、他	P9E1
10月14日～15日	竹ん芸	若宮稲荷神社	P9F3
11月第2土・日曜	丸山華まつり	丸山地区周辺(梅園身代わり天満宮など)	P8D5



長崎ランタンフェスティバル



長崎くんち



長崎帆船まつり



稲佐山つつじまつり

長崎観光・交通問い合わせ先

■観光案内		
長崎国際観光コンベンション協会	095-823-7423	
長崎市役所	095-822-8888 (あじさいコール)	
長崎県観光連盟	095-826-9407	

■交通		
長崎電気軌道(株) 電車部運転課	095-845-4111	
長崎バス(長崎自動車株式会社)	095-826-1112 (総合サービスセンター)	

あとがき

本書の編集にあたり、全体を通じて各見学物件の歴史・由来等に重点を置いて掘り下げてみたつもりです。異国情緒あふれた長崎の街の雰囲気をお伝え出来れば幸いです。物件解説で叙述しきれない項目は、数点のコラムで補いました。特に『平和への祈り』では、当時の世界情勢を交えて原爆投下までのいきさつや、原爆開発の裏側にも触れました。平和の尊さを、改めてかみしめる一助となればと願っております。

最後になりましたが、長崎県様はじめ、関連諸機関様等、多くの皆様より資料・写真のご提供等を賜りました。刊行にあたり、改めまして厚く御礼申し上げます。

写真提供 (敬称略)

(一社) 長崎県観光連盟、長崎県文化観光国際部観光振興課、長崎市役所原爆資料館被爆継承課、三菱重工業、他

表紙は「寛文長崎図屏風」

散策&観光 長崎市内編 最新版 定価 600 円 (本体 545 円+税)

第 3 版第 1 刷

発行日 2024 年 10 月 1 日

編集スタッフ ユニプラン編集部

デザイン 岩崎宏

発行人 橋本良郎

発行所／株式会社ユニプラン

〒 601-8213 京都府京都市南区久世中久世町 1-76

TEL. 075-934-0003

FAX. 075-934-9990

振替口座／ 01030-3-23387

印刷所／株式会社プリントパック

ISBN978-4-89704-604-4 C2026